

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

## 概要

Cisco Unified Contact Center Enterprise 8.x によって、CTIOS エージェントデスクトップで、CTIOS デスクトップは最前線にエージェントがコールを受信するとき来ます。この資料はコールが入るとき方法についての情報を CTIOS にバックグラウンドのデスクトップ滞在をする提供したものです。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco Unified Contact Center Enterprise 8.x に基づいています。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 手順

Cisco Unified Contact Center Enterprise 8.x によって、CTIOS エージェントがコールを受信するとき、CTIOS デスクトップは最前線に来ます。CTIOS にバックグラウンドのデスクトップ滞在をする必要がある場合述べられるこのセクションでプロシージャを行って下さい。

あるこれは MainScreen キーの助けによって可能性のあるです、[HKEY\_LOCAL\_MACHINE \ソフトウェア\シスコシステムズ、株式会社\ CTIOS \ <CTIOSInstanceName> \ <CTIOSServerName>

\\EnterpriseDesktopSettings\すべてのデスクトップ\ScreenPreferences\名前\MainScreen]。これには着信コールに応じて softphone ウィンドウおよびアイコンの動作を定義する登録値が含まれています。

これらは MainScreen キーの登録値のリストです:

Registry 値名前	説明
BringToFrontOnCall	イネーブルになった場合 (1) は、softphone ウィンドウ BeginCallEvent が発生するとき他のウィンドウとりわけ上がります。
FlashOnCall	イネーブルになったとき (1) は、タスクバーの softphone アイコン BeginCallEvent が発生すると点滅します。
RecordingEnabled	レコード ボタンがエージェントおよびスーパーバイザ = 無効、1 = イネーブルになった) で Softphones (0 有効になるかどうか制御。
AgentStatisticsIntervalSec	どの位の割りで (秒で) Softphones エージェントおよびスーパーバイザがタイム州のエージェント統計情報をアップデートするか制御。

CTIOS にバックグラウンドのデスクトップ滞在をするために、BringToFrontOnCall をゼロに設定する必要があります (0)。デフォルトで、この値は最前線に CTIOS デスクトップを持って来る 1 にコールが入るとき設定されます。

また、[CTIOS システムマネージャガイドを Cisco Unified ICM/Contact センター 企業のための及びホストされる](#)参照して下さい。

## 関連情報

- [CTIOS のインストール エラー](#)
- [CTIOS サイレント モニタリングが機能しない - イーサネット カード ドライバ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)